

実践 実交

小学国語

— 中学年 —

国語辞典との出会いを楽ししいものに！ ～まるごと味わう国語辞典から学習を始めよう～

千葉市立大森小学校 山村 美枝子

一 はじめに

豊かな言葉から、豊かな感性も育まれる。
知りたいな、調べたいなという子どもたちの
思いや願いを満たしてくれる国語辞典。いつ
も身近に置いて、たくさん言葉と出会い、
たくさんさんの言葉で考える子になってほしいと
いう願いのもと、この単元を設定した。

二 単元名と学習指導計画

1 単元名

国語じてんのひみつを見つけて、

使い方やじてんの引き方を知ろう。

～国語じてんを使ってゲーム大会を開こう～

2 単元の目標

●国語辞典のひみつを調べ、国語辞典に親
しみをもつ。
(関心・意欲)

●国語辞典の活用の仕方や引き方を知り、
活用する。
(言語事項)

3 学習指導計画

(総時数5時間)

第一次国語辞典のよさをまるごと味わう。

(2時間)

○国語辞典を使った学習へのめあてをも
ち、目的意識と自分の学習課題をもつ。

○学習計画を立てる。

○国語辞典のひみつを見つける。

○見つけたひみつを発表し合い、国語辞典
は、どんなとき役に立つのかをまとめる。

第二次国語辞典の引き方を知る。(2時間)

○見つけた国語辞典のひみつをもとに、引
き方について話し合う。

・早く言葉を探すための工夫

・形の変わる言葉の引き方

・いくつかの意味からどの意味を選ぶか

○見つけた引き方を使って、実際に国語辞
典を引いてみる。

第三次国語辞典を使ってゲーム大会を開き、

学習を振り返る

(1時間)

※「ゲーム大会」を行うための具体的な話し

合いと、準備をする。

(課外活動)

三 学習の実際

まず初めに、めあてとゴールを話し合い学
習計画を立てたことで、見通しをもって意欲
的に学習を進めることができた。

第一次めあてとゴールを確認する。

一人ひとりに、自分の国語辞典を用意して
もらい、この辞典でどんな学習をしたいのか
考えさせた。(子どもたちの思いや願いをも
とに、めあてとゴールを決めた。)

めあて

・国語じてんのひみつを見つけて、使い方や
引き方を知り、じてんを引いてみよう。

ゴール

・国語じてんを使ったゲーム大会を開こう。

第一次学習計画を立てる。

めあてとゴールをもとに、「どんな順序で
学習していったらよいか」という問いかけを
して話し合わせ、教師の支援で計画を立てた。

第一次国語じてんのひみつを見つける。

辞書を手にして、児童が興味・関心をもったところから自由に発見させた。

第一次ひみつを発表し合い、使い方を考える。

児童が見つけた国語辞書のひみつを発表させ、板書した。左のような意見が出た。

- ・言葉とその意味がたくさんのっている。
- ・同じ読み方の言葉でも、意味がちがう。
- ・言葉の短文の例や反対語がのっている。
- ・一つの言葉でもいろいろな意味がある。
- ・平仮名の言葉の下に、漢字で書いた言葉があつて、辞典を閉じた所に、五十音順が印刷してある。
- ・言葉は、あいうえお順でのっている。
- ・色の名前、漢字の書き順ものっている。
- ・有名人の名前、百人一首がのっている。
- ・もの知りコラムがあつた。
- ・物の数え方、十二支などがのっている。
- ・東京式アクセントや、カタカナで書く言葉、日本の周りの海流ものっている。
- ・池に住む動物や世界地図もあつた。
- ・「せいそう」という言葉が四つある。等

◆国語辞典のひみつは、これ以外にも黒板

いっぱい発表された。板書の際、「ことば」と「付録」の内容に整理して書いておき、国語辞典の魅力に気付かせることができた。また、国語辞典はどんなときに使える

かについても、この板書を使って考えさせた。

◆国語辞典にはコラムや付録もあり、言葉調べだけでなく、もの知りミニ百科事典にも使えらる、子どもたちは驚き喜んでた。

第二次ひみつをもとに、言葉を早く探するための引き方の工夫を見つける。

前時で見つけたひみつをもとに、さらに詳しく調べさせた。

早く言葉を探すための工夫として、次の三点が習得できるよう、指導した。

①言葉の並び方の約束を使った引き方

・じてんを閉じた所の五十音順の文字を見て、じてんを開く。次は、横の文字を見ると早い。

・言葉の並び方が、一番目も、二番目も、その後も五十音順に並んでいる。
・清音、カタカナ、濁音、半濁音、長音、拗音、促音の順に並んでいる。等

②形の変わる言葉の引き方

「ねた・ねない・ねれば」の場合は、「ねる」で調べる。形の変わる言葉は、「言い切り」の形で調べる。

③いくつもの意味からの選び方

同じ漢字を見つけた、どの意味か迷ったら、言葉が書かれていた文章にもどって、文章にあった意味を選ぶ。

◆①の「言葉の並び方の約束」に着目して調べる児童が多く、②と③については、言葉を教師から提示し、課題に気づかせてから確認した。

第三次ゲーム大会を開く。

- ・十問早引きゲーム
- ・言葉の並び順当てゲーム
- ・同音異義語探しゲーム

第三次学習のまとめと振り返りをする。

「めあてにそって振り返りをしましょう。」という問いかけで振り返りをノートに書かせた。

四 おわりに

国語辞典のひみつ探しから始まった学習は、全員の興味・関心を最後まで持続でき、さらに国語辞典を使いたくてたまらない気持ちにさせることができた。思うように使いこなせなかった子も、今では辞書にたくさんの付箋紙がついて満足げである。

やまむら みえこ 国語大好きな子を増やし、言葉で感動し、言葉で伝え合い、自分の思いを文章に表現できる子の育成を目指し実践中。